

2019「若手研究者一覧」記入要領

注:※印は全員必須。

(なお上のスペースで書き切れなかったことを補足する。読解可能な外国語について、留学生の場合は「日本語」を含めてよい。また専攻分野については、「哲学」「倫理学」「文化人類学」といった括り方で。学際的領域の場合は伝統的な学問分類でなくてもよいが、一目で分かるネーミングが望ましい。)

◆著書 単著・共著の区別を冒頭に括弧書きで示す。

◆論文 査読付きの場合はその旨を記す。

「○○○○○○○○○○○○○○○○」、日本哲学会編『哲学』△△号(查読付)、2016年10月1日、74-86頁

◆その他の著述 調査記録、書評、辞典項目執筆、等 その他の執筆物を書く。

○○○○他編『現代哲学辞典』○○書店 2016年12月1日 「クーザン」「唯心論」「伝統」の項

◆翻訳 原著の原語タイトル、書誌情報もできる範囲で添える。

◆学会報告等 ポスター発表などを含む。査読付きならその旨を記す。正式の学会でなくとも、多くの私的研究会でなければ各自の判断で書いてよい。

[International] Conference on ○○, University of ○○, 2015年8月25日

日本哲学会第〇〇会大会(於千葉大學) 2014年5月20日(査読付)

【000000000000】ベルグソン協会例会(0000ホーム) 2013年12月1日

全体の統一感を出すために、なるべく上の項目順序を守ってもらいたいが、特に記載するものがない項目については、たとえば「◆翻訳 なし」という風に書くのではなく、その項目自体を立てなくてよい。また、上記の例ではしつりしないと思われる場合は、各自で独自の項目を立ててもよい。たとえば「◆フィールドワーク」など。

所 属 学 会	○○○学会、○○○○○○○協会
担 当 可 能 領 域	哲学、倫理学、思想史、フランス語、現代文化論
非常勤講師などの職歴	(新しいものから古いものへという順序で記入) 一橋大学のリサーチ・アシスタントやティーチング・アシスタントなども含む。
2015年4月－現在	○○大学○○学部非常勤講師 (フランス語)
2014年4月－現在	○○大学○○学部非常勤講師 (思想史)
2012年10月－2013年3月	一橋大学ティーチング・アシスタント(社会思想史)
その他 特 記 事 項	留学経験、語学検定スコア、各種奨励賞、アカデミックスキルの免許、助成金やスカラーシップ取得などのセールスポイント ○○○○○、○○○○○、○○○○○、……